

平成17年度協働事業提案 公開調整記録

No. 11 ボランティア預託LOVES

とき 平成17年6月16日(木) 10:00~11:00

ところ 大和市役所会議室棟201会議室

参加者

- ・提案者：山口さん
- ・関係課：情報政策課（池田）
- ・協働推進会議委員：杉山委員
- ・事務局：市民活動課（小山、鈴木）

【提案者の想い・調整の主な内容】

提案者

- ・大和市にある、地域通貨LOVESを「大和市の通貨」として宣伝していきたい。
- ・少しずつ自分の周りから始めていくということでは、広報力が弱いと思った。
- ・行政提案“ふくしの手 全員集合”が自分の考えているイメージに近いようにも思った。

情報政策課

- ・協働事業としてどのように進めていくかというビジョン（市が何をして、提案者が何をするかという役割分担）が明確になっていない。
- ・提案者が所属している団体に提案して、各コミュニティ単位で実践していく方がよいのではないか。
- ・各コミュニティでの実践を積み重ね、地域通貨を成熟させていく中で、コミュニティ同士の連携が図られていくことが望ましい。
- ・提案者が提案内容を実践していく中で、話しを持っていきにくいところがあれば、行政が橋渡しのお手伝いをするにはできると考えられる。
- ・6月15日(水)から8月1日(月)まで、LOVES循環モデル事業を募集している。ここに提案していただければ、LOVES運営委員会の方で、提案へのアドバイス等の体制は整っている。
- ・地域通貨は、利用する地域の意思が何より大切。平成14年の導入時に地域の受け入れ体制がない中で全市的に一齐にスタートしてしまったために、様々な誤解を生じさ

せてしまった。LOVES運営委員会でも、地域通貨の小さな芽を育てていくことで確認された。

協働推進会議委員

- ・ 提案内容は、本当に必要性を感じる。だが市との協働事業として取り組むなら、もっと事業として形にしていく必要がある。
- ・ 地域で取り組むような形の方がよいのではないか。市全体で取り組むと実効性が薄くなってしまふ恐れがあるように思う。

事務局（市民活動課）

- ・ 行政提案は、6月30日（木）に意見交換会を行う。これに参加し、実際に提案者のイメージに近いものか確認してはどうか。

【確認事項】

- ・ 提案者は、自らの提案の方向性として、次の ~ から選択をし、提案の内容を深めていく。

提案者の持つ地域通貨についての構想を、LOVES運営委員会に伝えていく。

提案者自身が、地域通貨を動かす実践者になり、LOVES循環モデル事業へ応募する。

今年度、行政提案として出ている、「ふくしの手 全員集合」事業との連携を考える。

【記録者：市民活動課 鈴木】